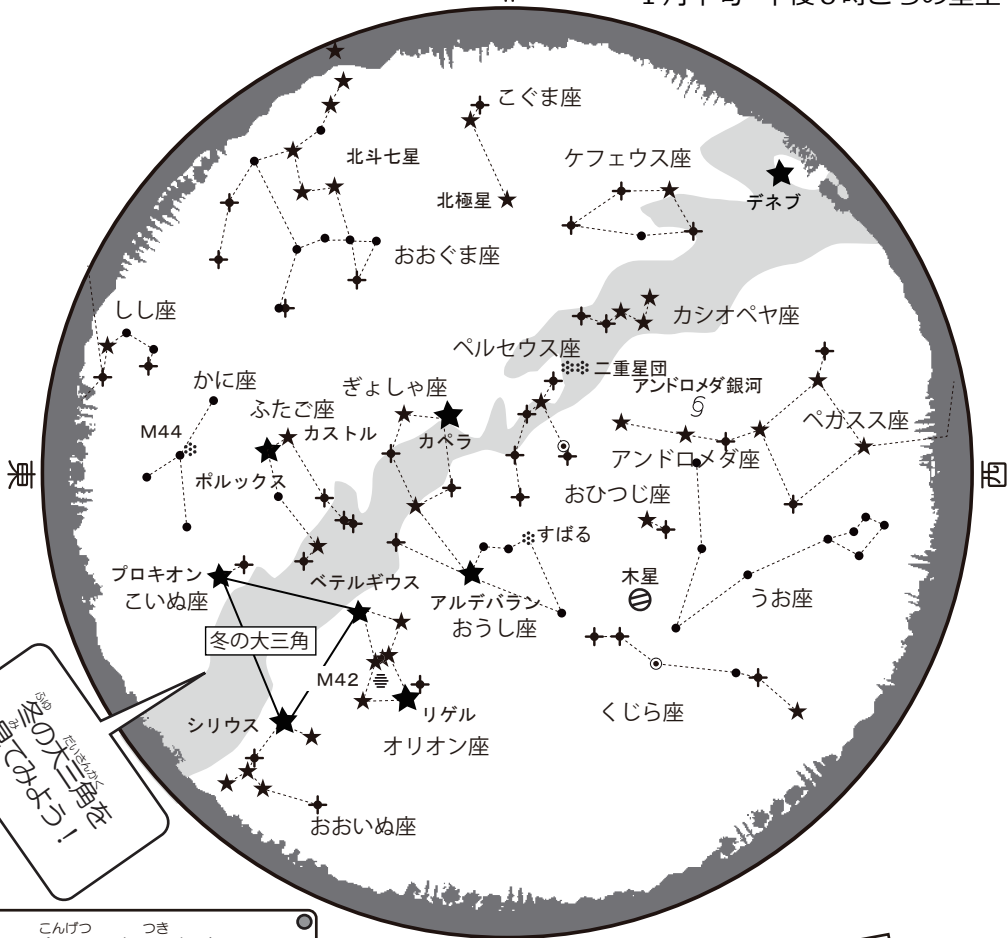


星空だより

2024年1月
No.158
富山市科学博物館



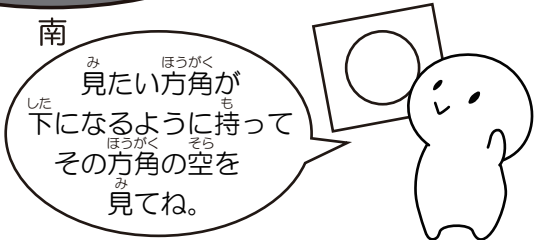
北 1月中旬 午後8時ごろの星空



冬の大三角を知ろう！

〜今月のお月さま〜

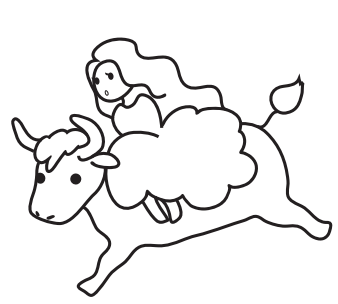
1月 4日	下弦	☾
1月 11日	新月	●
1月 18日	上弦	☽
1月 26日	満月	○



★ 注目 双眼鏡で星を見てみよう

澄み切った冬の空には、双眼鏡で楽しめる天体がたくさんあります。月を双眼鏡で見ると、クレーターと呼ばれるいん石の衝突によってできた穴がたくさんあることがわかります。他にもおし座にあるM45 [すばる] を見てみると、星がたくさん集まっているのがわかりますし、オリオン座にあるM42 [オリオン大星雲] を見てみると、星ではなく雲のようなもやとしたものがあることがわかります。あたたかい服装をして、双眼鏡で冬の星空めぐりをしてみましょう。

★ 黄道十二星座紹介 ☆ おうし座 ☆



おうし座は、ギリシャ神話に出てくる大神ゼウスがフェニキアの王女エウロパと結婚するために変身した姿といわれています。エウロパとゼウスが共に海を渡り、たどり着いた場所は、ヨーロッパと呼ばれるようになったといわれています。

※黄道十二星座って？
太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

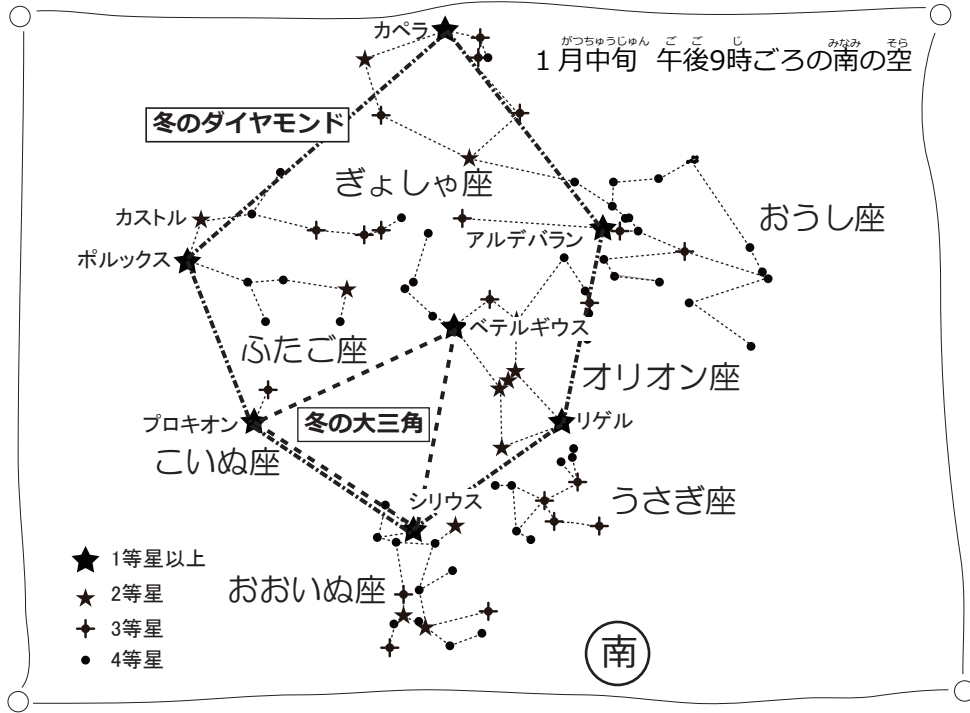
★ ほしそらかんさつかい 星空観察会

まいしゅうどようび よる かいさい 毎週土曜日の夜に開催。

くわ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

今月の さがしてみよう

冬の星座たち



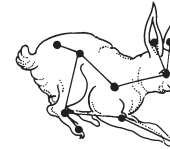
- 1 リボンのような形のオリオン座を見つけます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、冬の星座で一番明るく輝くシリウスを見つけます。
- 3 オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つけます。
- 4 オリオン座のみつぼしを上へのばして、おうし座のアルデバランを見つけます。
- 5 アルデバランの北側にあるカペラと、五角形に並んだぎょしゃ座を見つけます。
- 6 ぎょしゃ座の左下に、2つ並んだ明るい星のあるふたご座を見つけます。
- 7 シリウス、プロキオン、ポルクス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

今月のオススメ星座！



オリオン座

リボンのような形をした星の並びがオリオン座です。右肩の赤くて明るい星はベテルギウス、左足のやや青みがかった明るい星がリゲルです。またこの星座には、オリオン大星雲（M42）と呼ばれる星雲があります。



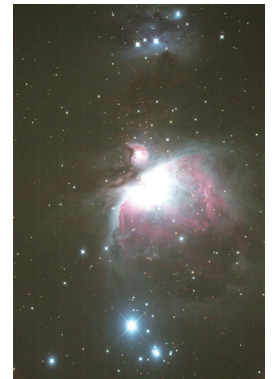
うさぎ座

オリオン座の足元にある星座です。うまく星をつなぐと、長い耳やしっぽ、前足などをたどることができます。このうさぎは、狩人オリオンの獲物として作られた星座だという説があります。

天文コラム

オリオン大星雲

オリオン座の「みつぼし」の少し下に、3つの星が縦に並んでいます。これは「こみつぼし」と呼ばれ、双眼鏡で見ると、その真ん中の星が他の星とは、違って見えます。これが「オリオン大星雲」です。望遠鏡で写真を撮ると、鳥が翼を広げているような姿に写ります。「オリオン大星雲」の中心部を望遠鏡で拡大して見ると、4つの星が集まって見えます。これは「トラペジウム」といって、生まれたばかりの若い星たちです。「オリオン大星雲」では今も星が生まれ続けているといわれ、星のゆりかごとも呼ばれています。



オリオン大星雲



トラペジウム